

沼倉昌明さん『デフアスリートインタビュー』（7月4日配信）

インタビューよろしくお願ひします。

沼) よろしくお願ひします。

お名前は？

沼) 沼倉昌明です。よろしくお願ひします。

デフリンピック、おつかれさまでした。

沼) ありがとうございます。

団体銀メダル獲得、おめでとうございます。

沼) ありがとうございます。

歴代最高順位ですが、感想をお願いします。

沼) 実際に銀メダルを取れた時は嬉しかったです。でも、あと1勝で金メダルでしたし、そこを目指していました。次回の大会に金メダルは持ち越しですね。また一所懸命練習に取り組みたいと思います。

メダルのデザインについて、教えてください。

沼) このメダルのデザインですが、開催地（カシアス・ド・スル）はブドウが有名です。それを模しています。元はヨーロッパから入って来たようですが、ワインも有名です。私はワインが飲めませんが、飲める方が言うには美味しいそうです。裏にはデフリンピックのロゴマークがあしらわれています。

長距離移動の疲れは？

沼) 行きよりも帰りが辛かったですね。西に移動するよりも東に移動する方が時差ボケがひどいようで、私は帰国後1か月程度おさまるまでにかかりました。

新型コロナウイルスの影響で個人戦が出場辞退になったことについて教えてください。

沼) 正直、残念ですね。なぜなら、準決勝の相手も決勝の相手も、以前も、今回の団体戦でも勝った相手でした。だから、勝てると思っていました。しかし戦うことが出来ず本当に残念でした。悔しさはありますね。

一番印象深い出来事は？

沼) 辞退することを知ったのは準決勝の当日です。朝6時に起き試合の準備をしている時、選手に集まるよう指示がありました。その時からすでに嫌な予感がありました。行ってみると事務局長からコロナ感染者が出ているので日本は出場を辞退すると発表がありました。その時の様子は忘れられません。時間が止まってしまったようでした。生涯忘れることはないと思います。

外国人選手とのエピソードはありますか？

沼) 辞退が決まった時に各国の選手から大丈夫か、本当は金メダルが取れたはずなのに、など励ま

されました。実際に、宿泊しているホテルまで来て心配してくれる選手もいました。本当に感謝しました。

裏話がありますか？

沼) 裏話はないですかね。すみません。

全日本ろうあ連盟がデフリンピック日本招致に動いていますが、どう思いますか？

沼) 次のデフリンピックは、デフリンピック 100 年目の特別な大会になると思います。日本のおもてなしをアピールするいい機会になると思います。日本開催になれば私も非常に楽しみです。

日本開催となった場合、なにかできることはありますか？

沼) まずはみなさんにデフリンピックに興味を持ってもらいたいです。そこから自身の得意なことでどうデフリンピックに関われるかを考えていただければいいと思います。

ありがとうございました。